

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅢ (Seminar3) 263045-14000					担当教員	武本 隆行 (タケモト タカユキ)		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	3年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目/協同学習型 AL/課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<ul style="list-style-type: none"> 本ゼミをトリガー(引き金、きっかけ)とした《主体的思考》の習慣化と具体的行動の実践する 必要な情報をWEB検索に頼らず足も使いながら幅広く探索することの重要性を肌で実感する 相手の立場(聞き手・聴き手)に立ち、望まれることは何か、有益な情報とは何かを模索する 									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 / コミュニケーション能力を養う / 情報収集・分析力を養う									
③ 授業の進め方・指示事項									
授業時間外においても学生グループで取材活動や企画会議などへの参加を行うことがある。これらの活動について報告書の作成と提出を求める。すべてグループワークとなるため自助・共助を心がけること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 社会人基礎力を養う(課題発見力・傾聴力・実行力・協調性)									
(ii) 地域社会に対して貢献をすることに加えて楽しんでもらえる									
(iii) 活動を正確に伝えられる報告書の作成									
⑥ テキスト(教科書)									
特になし。必要に応じてプリントを配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
過去のゼミ活動報告書									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	
総合評価割合			70%			30%		100%	
(i)			20%			10%		30%	
(ii)			20%			10%		30%	

(iii)			30%			10%		40%
フィードバックの方法	提出された報告書等は添削して返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生同士による自助・公助の意識を礎とした「主体的取り組み」が大前提。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション	筆記具	ゼミ生名簿作成・授業予定・活動概要の検討	30分
2	取り組み内容の確認、グループング	筆記具	各グループでの企画の方向性検討	60分
3	ラジオ局からのオリエンテーション	筆記具 各種準備資料	翌週にむけたディスカッション準備	120分
4	活動計画の作成	筆記具 各種準備資料	番組放送日からの逆算スケジュール作成	120分
5	企画会議～コンセプト	筆記具 各種準備資料	翌週にむけたディスカッション準備	120分
6	企画会議～具体案	筆記具 各種準備資料	翌週にむけたディスカッション準備	90分
7	街中取材	取材ツール一式	活動報告書作成	120分
8	企画会議～全体構成	前回までの決定事項資料	翌週にむけたディスカッション準備	120分
9	企画会議～全体構成	前回までの決定事項資料	翌週にむけたディスカッション準備	120分
10	街中取材	取材ツール一式	活動報告書作成	120分
11	ラジオ局へのプレゼンテーション資料作成	前回までの決定事項資料	プレゼン資料作成および練習	120分
12	ラジオ局へのプレゼンテーション資料作成	前回までの決定事項資料	プレゼン資料作成	120分
13	ラジオ局へのプレゼンテーション-1	各種資料	活動報告書作成	90分
14	ラジオ局へのプレゼンテーション-2	各種資料	活動報告書作成	90分

15	全体構成の修正（再提案準備）	前回までの決定事項資料	翌週にむけたディスカッション準備	120分
16	全体構成の修正（再提案準備）	前回までの決定事項資料	翌週にむけたディスカッション準備	120分
17	ラジオ局への最終プレゼンテーションテーション	各種資料	活動報告書作成	90分
18	番組制作進行	取材・編集ツール一式	活動報告書作成	90分
19	番組制作進行	取材・編集ツール一式	活動報告書作成	120分
20	番組制作進行	取材・編集ツール一式	活動報告書作成	240分
21	番組制作進行	取材・編集ツール一式	活動報告書作成	300分
22	番組制作進行	取材・編集ツール一式	活動報告書作成	300分
23	番組素材のラジオ局納品	取材・編集ツール一式	活動報告書作成	300分
24	成果発表会の準備～発表内容の打ち合わせ	各種資料 筆記具	プレゼンテーション資料の作成	60分
25	成果発表会の準備～発表資料類の調整	各種資料 筆記具	プレゼンテーション資料の完成と発表原稿の作成	120分
26	成果発表会準備の仕上げ	各種資料 筆記具	発表原稿の完成および発表にむけた練習	120分
27	成果発表会の反省および次年度の課題抽出	各種資料 筆記具	報告書原稿の作成	60分
28	成果報告書原稿作成(個別)	各種資料 筆記具	報告書原稿の作成	60分
29	成果報告書原稿作成(グループ別)	各種資料 筆記具	報告書原稿の作成	60分
30	次年度計画の作成、成果報告書原稿作成（全体調整）	各種資料 筆記具	次年度計画書と報告書の原稿完成	60分

⑪ アクティブラーニングについて

課題解決型 AL を採用する。課題をゼミ生自らが発見し、協働でフィールドワークを実施し、社会人基礎力を養っていく。最終的には活動報告という形で報告書を作成する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
20 余年の広告代理店勤務にて、マーケティング戦略の設計から店頭プロモーションの企画・運営、販売スタッフ研修など、分野横断的に実践を重ねる。そうした経験主義に、経営管理学修士(MBA)の取得を通じての系統主義を加えた、実務と理論を架橋し体系化させた業務従事の特徴とする。
実務経験と授業科目との関連性
地域課題の発見力や他者理解能力が求められるゼミナール活動では、徹底した主体的取り組みが必須となり、まさにマーケティング的思考プロセスが重要となる。実務を視野に入れたうえでのより実践的な授業構成とする。